

西岡津世志さん

YumewokatareInternational.
CEO (President&CEO)

#八幡東中出身 #サッカー部 #滋賀 #ボストン(アメリカ) #ニューヨーク #別府(大分) #夢を見つ
けさせるの得意 #目覚まし使わない #病気しない頭痛
とかならない #おもしろきこともなきよをおもしろく

西岡津世志さんは高校卒業後、吉本興業所属の芸人となった。その後『ラーメン二郎』で働かれ、『ラーメン莊夢を語れ』の店長兼代表取締役となり独立、そして『YumewokatareInternational, LLC』として世界進出を果たされ、現在『夢を語れ別府総本店』の代表も務められている。

西岡さんは夢とはなにかについて「夢は自分が今したいと思ったり、感じたものでいい。夢には大きさのレベルがある。まずは小さな夢でも良いので夢を見つけないことが一番大切だ。自分の今の夢は明日の朝カレーを食べることやボストンにいる子どもと夜に電話することだ。このような小さい夢をひとつひとつ避けずに叶えていくことでより大

きな夢が次々と頭に浮かんでくる」と笑顔を見せられた。

また本校の生徒に向けて「夢は固定することができない。自分が今やりたいと思ったことを一つひとつ確実に叶えていくことで夢の視野が広がっていき、人間は幸せになるために生きていけると思う。だから幸せになるためにみなさんも行動を起こし続け、夢を叶え続けていってほしい」とメッセージを送られた。

総合教養講座 参加者紹介⑦

津田誠さんはまず高校時代の話をされた。津田さんは大学受験を振り返って「大学に受からず一浪し、一年間京都の前の駿台に通っていた。今まで生きてきたなかで一番勉強したのはそのときだ」と明かされた。

津田さんはそんな浪人経験から、あることに気付かれたという。津田さんはその気付きについて「悩んだり、辛く感じたりするときに振り所になるのは過去の自分だとい

うことに気付いた。昔できたことは今の自分ができることの参考になるだろう。昔の自分が今の自分の指標になる。今辛かったり悩んだりしたことはこれからの自分の振り所になるだろう」と助言された。

自分は人見知りだと話された津田さん。現在人事総務の仕事を通して「人と話すのが苦手でも、ありのままの自分で話せば大丈夫だ。キャラがたっていたり、個性的だったりしなくても、地道にコツコツと進んでいけば今の社会で活躍できる。だから頑張っ

1月25日に本校2年生を対象とした総合教養講座が開催され、計20名の本校OBが登壇された。この面では西岡さんと津田さんを紹介する。



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号



利高工業株式会社 総務部 課長
津田誠さん

#彦根南中出身 #陸上部 #愛知 #京都 #滋賀
#人見知りだけど人と楽しいことがしたい #高校野球
大好き #朝(あした)の来ない夜はない

